

-月日 (校時)	単元名	教材名
11月7日(水) (3校時)	ひきざん	12-3の計算の仕方を考えよう。
本時のねらい (本時 6/13) ○11~18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算で、減数を分解して計算する方法(減減法)があることを知り、計算の仕方について理解することができる。		
評価規準 考 被減法や減数の大きさに関係なく、被減数を10のまとまりといくつに分けて計算する仕方と減数をいくつといくつに分けて計算する仕方を考え、言葉やブロック操作などによって説明している。(観察・ノート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 10:20	・前時の振り返りをする。(ぶつぶつタイム)	・13-9、14-8、12-7などの学習をしてきたことを振り返らせる
問題提示 10:22 課題把握 10:38 ・シラバス ・言語わざ 10:28 自力解決 10:33 集団解決 ・ペア学習 10:35 ・全体学習 ・考察 10:50 ・まとめ 10:56 適用問題	1 問題を知る。 おかしが12こあります。3こたべると、のこりはなんこですか。 ○気づいたことや、今までの学習との違いを発表しましょう。 ・後の数が小さくなっている。 ・式は、12-3になるよ。 ・12を10と2に分けてやったらできそう。 ・ブロックを使ったらできる。 2 課題を確認する。 12-3のけいさんのしかたをかんがえてせつめいしよう。 《1人でチャレンジ(5分)・ペア学び(2分)・全体学習(15分)・まとめ(6分)・適用問題(6分)・振り返り(3分)》言語わざ：キーワードを使う 3 12-3の答えの求め方を考える。 ・12を10と2に分ける。 ・10-3=7 ・7と2で、こたえは9になる。 4 ホワイトボードを使って、やり方を説明する。 ○12-3のやり方をブロックと式を使って説明しましょう。 ・ほかのやり方はないかな。 ・3を2と1に分けてできそうだ。 5 考えたことを発表する。 ○出てきた考えから、気づいたことを発表しましょう。 ・はじめに3を2と1に分けて計算すると、 ・12-2-10 ・10から1を引いて、答えは9になる。 12-3のけいさんは、12を10と2にわけるやりかたと、3を2と1にわけるやりかたがある。 6 適用問題に取り組み、結果を確かめる。	・これまでの学習を基にして見通しを持たせる。 キーワード 10からひく のこりをたす ・自力解決が進みにくい児童には、近くの児童にヒントをもらってよいことを伝える。 ・ホワイトボードに図をかき、図を使って説明ができるようにする。 考 被減数を10といくつに分け手計算の仕方を考え、言葉やブロック操作などによって説明している。(観察・ノート)
【終末】 ふりかえり 11:02	7 学習したことを振り返る。	・できるようになったこと、分かったこと、友だちから学んだことを記述させる。